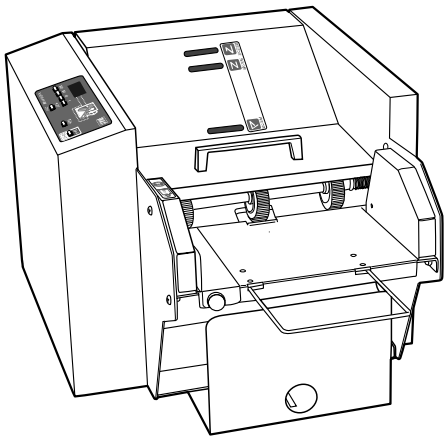
A4 専用

卓上紙折り機

EPF-200/50Hz(50Hz 地域向け)

EPF-200/60Hz(60Hz 地域向け)

取扱説明書



目次

1. 必ずお読みください 1
1.1. はじめに 1
1.2. ご使用上の注意 1
1.3. 免責事項 3
2. 同梱品をご確認ください 4
3. 本体各部の名称とはたらき 5
4. お使いになる前に 7
4.1. 梱包材の取り外し 7
4.2. 設置 7
4.3. 電源プラグの接続 7
5. 折ってみましょう 8
5.1. 本機でできること 8
5.2. 使用できる用紙 8
5.3. 操作パネルの表示と意味 8
5.4. 折る前の準備 9
5.5. セットした用紙を全て折りたいとき（カウントアップモード） 11
5.6. 必要な枚数だけ折りたいとき（カウントダウンモード） 12
5.7. 重ね折りをするには 13
5.8. 紙詰まりした用紙を取り除くには 14
6. お手入れのしかた 15
6.1. 本体のお手入れのしかた 15
6.2. 排紙センサのお手入れのしかた 15
6.3. ゴムローラのお手入れのしかた 16
6.4. 消耗部品の交換のしかた 17
7. こんなときは 19
7.1. こんなときは 19
7.2. お問い合わせ 21
8. 保証とアフターサービス 21
8.1. 保証について 21
8.2. 転居されるときは 21
9. 製品仕様 22

●ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
●この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。

●本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁じられています。

●本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

Ver.1.00

1. 必ずお読みください

1.1. はじめに

この度はマックス 卓上紙折り機 EPF-200 をご購入いただき、誠にありがとうございます。
本機は封書の発送業務にて、使用頻度の高い A4 サイズの三つ折に特化することで、よりシンプルで使いやすい紙折り機を目指して開発された、マックス卓上紙折り機です。本機では、一般的な手動調整式紙折り機で必要とされる面倒な調整作業を必要とせず、どなたにも簡単な操作で、紙折り作業の効率化を実現します。作業の効率化を図り、また良きパートナーとして末永くご愛用いただくために、この取扱説明書に従ってお取扱いいただきますようお願い申し上げます。

1.2. ご使用上の注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

■表示について

この取扱説明書および商品は、商品を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。
⚠ 注意	取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う可能性が想定され、絶対に行なってはいけないことや物的損害のみの発生が想定され、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。また、作成したデータが消失する可能性があり、絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

お願い

機械が故障し修理が必要になることが想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行なってはいけないことが書いてあります。

メモ　操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。

参照　説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

■表示について

△	「気をつけるべきこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。
⃠	「してはいけないこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は具体的な注意内容です。
●	「しなければいけないこと」を意味しています。 この記号の中や近くの表示は具体的な指示内容です。

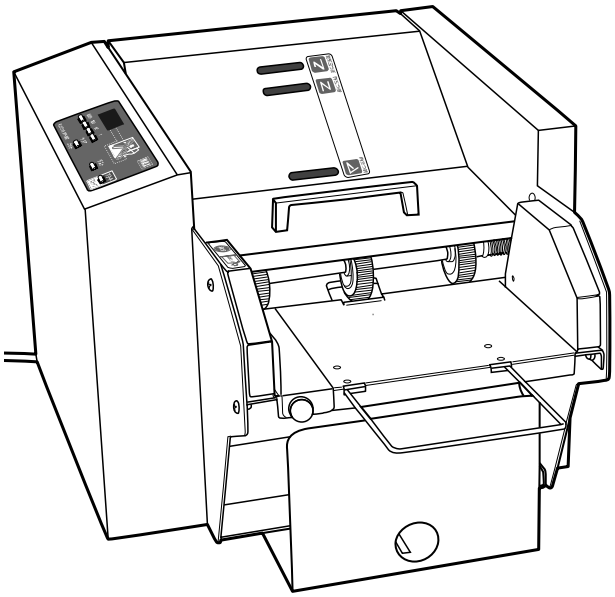
⚠ 警　告	
	本機は絶対に**分解または改造しないでください**。火災、感電、故障の原因となります。
	必ず**アースを接地**してください。
	本機の内部に指、ペン、針金などの異物を差し込まないでください。本機の故障や、火災、感電の原因になります。
	電源コードの上に重いものを絶対にのせないでください。コードに傷がついて火災や感電の原因となります。
	電源プラグは定期的に清掃してください。長い間にホコリなどがたまり、火災や故障の原因になります。
	電源コードは、束ねたまま使用しないでください。発熱により、火災や故障の原因になります。 必ず、ほどいてご使用ください。
	電源プラグを抜くときは、**電源コードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いて**ください。コードが破損して火災や感電の原因になります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります
	コンセントに差し込んだまま、紙や布を本機の上にかぶせたり置いたりしないでください。火災や故障の原因になります。
	電源コードのアース線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。 火災・感電の原因になります。
	水、薬品などが機械にかからないようにしてください。万一内部に水などが入った場合は電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると本機が故障や、火災、感電の原因になります。
	故障のまま機械を使わないでください。煙が出ている、変な音やにおいがするなど、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因になります。**すぐに電源プラグをコンセントから抜いて**販売店に修理をご依頼ください。

⚠ 注　意	
	本体仕様と異なる電源周波数では使用しないでください。本体仕様と異なる周波数で使用すると故障の原因となります。
	大きな容量を必要とする機器（冷暖房機器、冷蔵庫、電子レンジ、ＯＡ機器等）**とコンセントは共用しない**でください。電圧が下がり機械が誤動作する可能性があります。
	本体は必ず水平に設置してください。ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に設置しないでください。倒れたり台から落ちたりして、けがや故障の原因になります。
	直射日光の当たる場所や高温多湿の場所、結露した状態でのご使用は避けてください。動作が不安定になることや、機械故障の原因になります。
	連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	電源を入れたまま、ローラなど駆動部には触れないでください。けがをする恐れがあります。
	髪の毛、ネクタイ、ネックレス等をローラなどの駆動部に近づけないでください。巻き込まれてけがをする恐れがあります。
	クリーニングや消耗部品交換の際は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。不意に動作してけがをする恐れがあります。
	本機内部に用紙等がはさまるなどで、正常に動作しない場合は、必ず電源を切ってから取り除いてください。機械が不意に動作したとき、けがの原因になります。
	カバーの開閉時は、取っ手以外は触れないでください。カバーと本体の間に挟まれて、けがをする恐れがあります。
	本機を移動させる時は、必ず本体底部を持って運んでください。落下や変形等でけが、故障の原因になります。

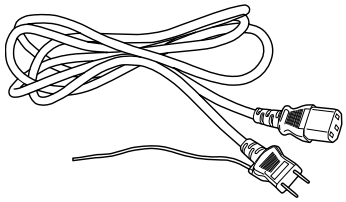
1.3.　免責事項

本取扱説明書の記載内容を守らなかったことにより生じた損害や、故障等の使用不能の際に生じた損害や逸失利益、または、重要書類の破損および、これにより生じた２次的な損害につきましては、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

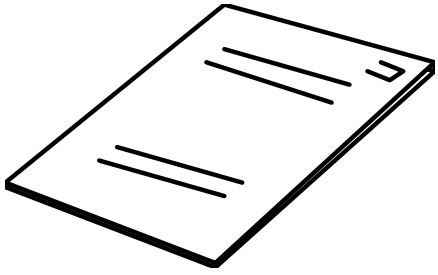
2. 同梱品をご確認ください



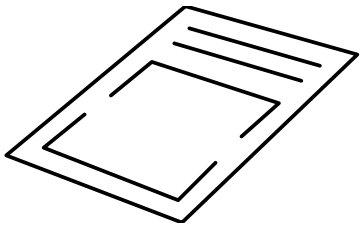
① 本体



② 電源コード
本体排紙トレー内に
梱包されています。



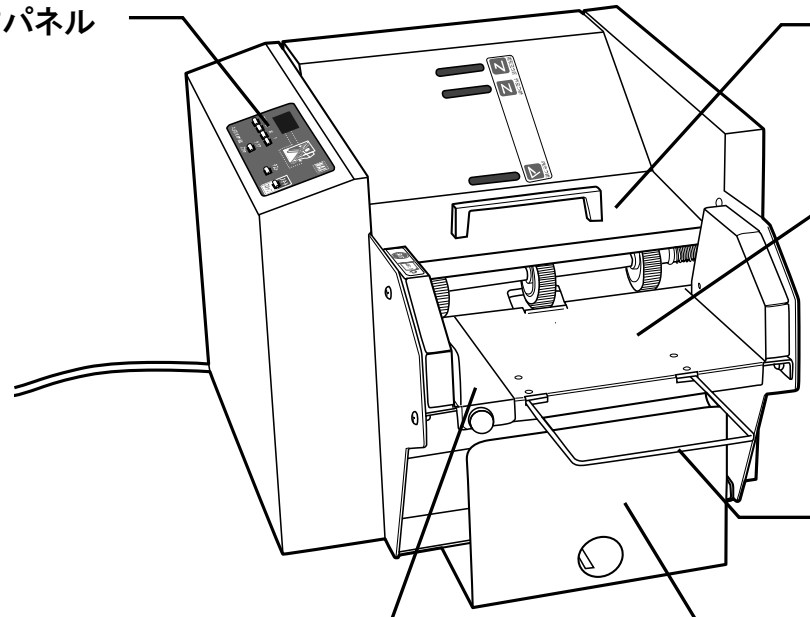
③ 取扱説明書(本書)



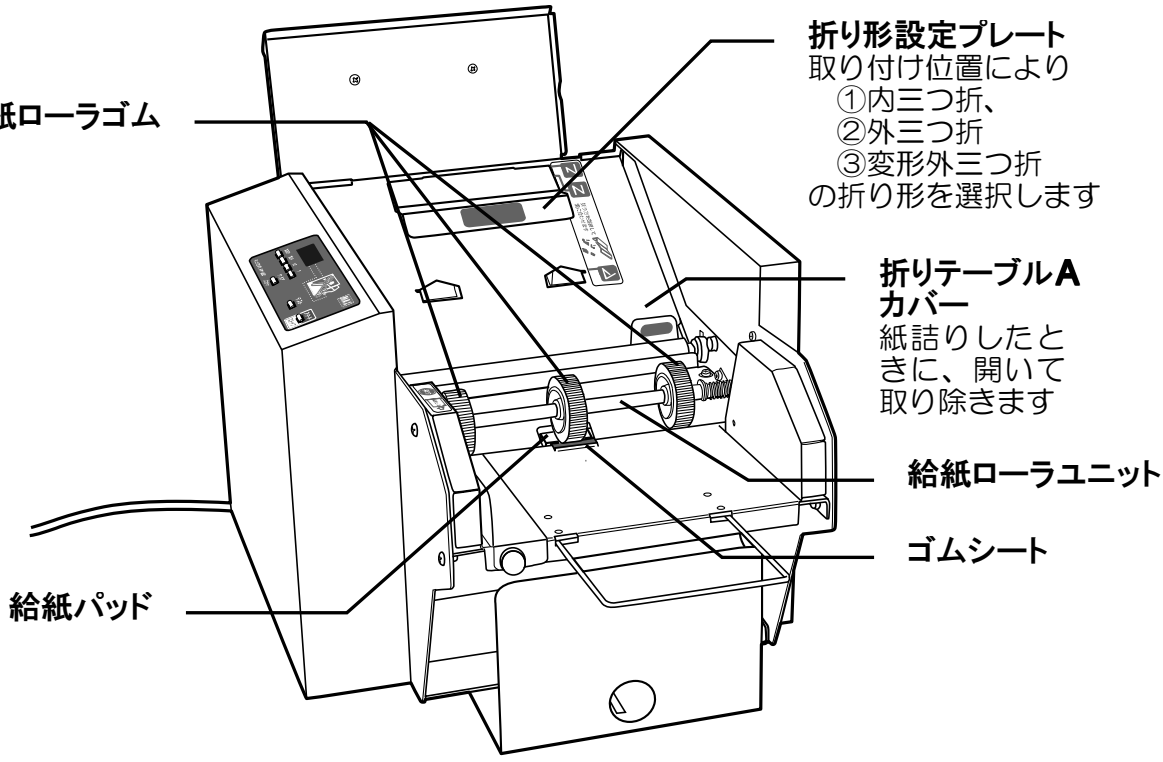
④ 保証書兼お客様登録カード

3. 本体各部の名称とはたらき

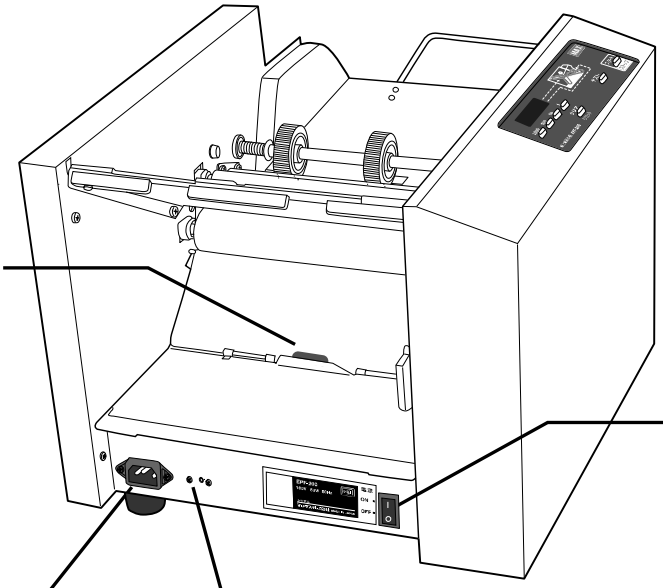
■ 本体外観



■ 本体上カバー内



■ **本体上カバー内**（上カバーの図を省略しています）



折りテーブルBカバー
紙詰りしたときに、開いて取り除きます

電源スイッチ
主電源スイッチです

AC インレット
電源コードを差し込みます

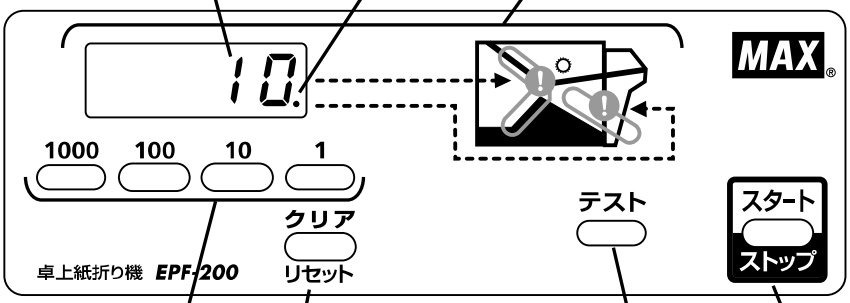
ブレーカボタン
安全装置が働くと、ボタンが飛び出て、電源を遮断します

■ **操作パネル**

動作モード表示
「. 」: カウントダウンモード
「 」: カウントアップモード

表示部
カウント枚数や
エラーを表示します

エラー発生箇所表示
表示部とイラストで、
エラー発生箇所を示します



枚数設定ボタン
処理枚数を設定します

スタート／ストップボタン
動作を開始／停止します

クリア／リセットボタン
カウンタをクリアします
エラーを解除します

テストボタン
試し折りをします
２枚のみ動作して停止します

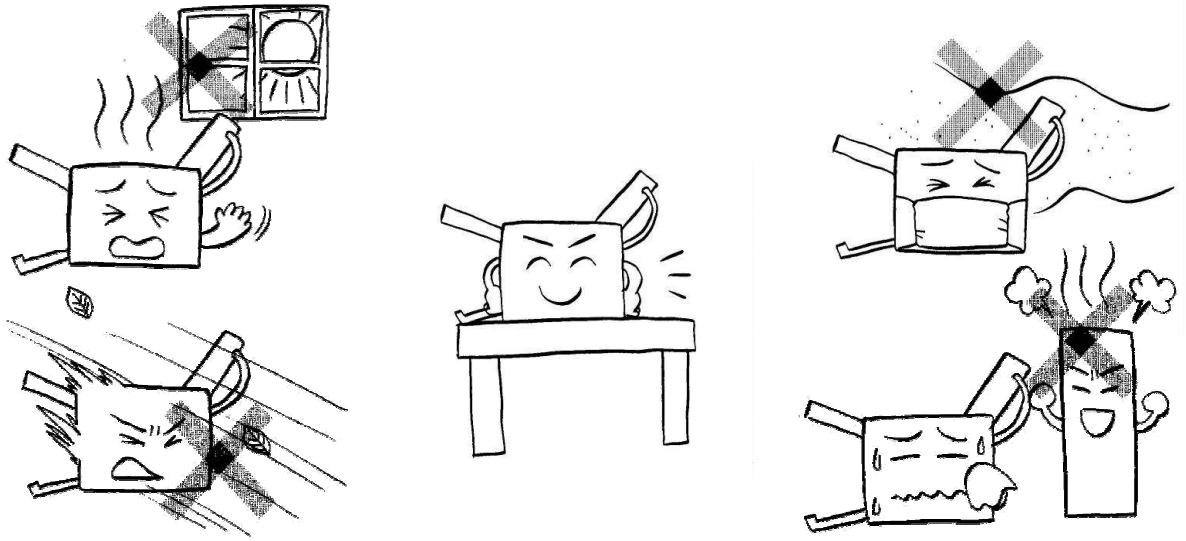
4. お使いになる前に

4.1. 梱包材の取り外し

ご使用になる前に、必ず輸送時用の水色テープおよび、包装材を全て取り除いてください。
上カバーを開けた内部や排紙トレー内にも、輸送用のテープおよび包装材があります。

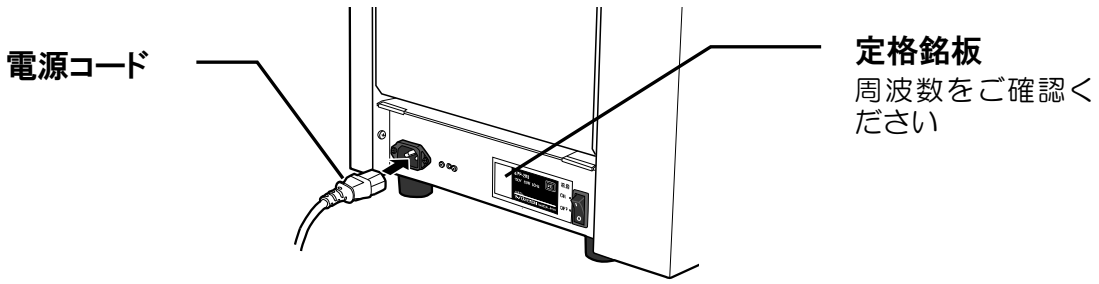
4.2. 設置

直射日光の当たる場所に設置しないでください。
窓際は、避けてください。
湿気やほこりの多い場所は避けてください。
風の当たるところ、熱を発生する機器付近での使用は避けてください。
本体の重さは約 20kg です。丈夫で水平な台又はテーブル上に設置してください。



4.3. 電源プラグの接続

本体に電源コードをしっかりと本体に差し込みます。



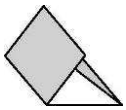
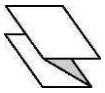
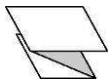
メモ

◆ 本製品は、ご使用になる電源の周波数によって、50Hz 地域専用モデルと 60Hz 地域専用モデルがあり、異なる周波数ではご使用になれません。対応する周波数は、定格銘板に記載しております。ご使用の地域の電源周波数と一致しているかご確認ください。

5. 折ってみましょう

5.1. 本機でできること

A4 サイズの用紙を下記３種類の折り形で、最大 300 枚まで連続的に自動で折ることができます。

内三つ折	外三つ折	変形外三つ折
		
封書の案内文等、記載内容を内側にしたいときなどに使います。	パンフレット等、表面を外側に見せたいときに使います。	長３窓付封筒に入れた際に宛名のズレを防ぐサイズに仕上げます。

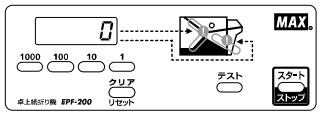
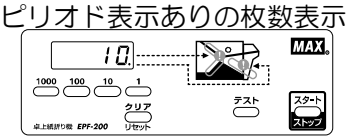
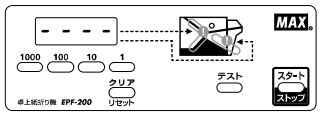
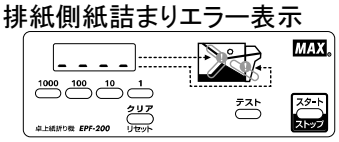
※ 手差し給紙で、上記３種類の折り形が、３枚までの重ね折りもできます。

5.2. 使用できる用紙

本機で折れる用紙は、下記の範囲内となります。

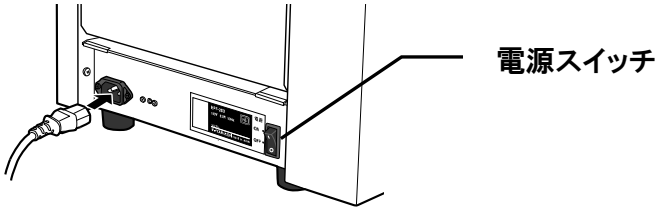
項目	仕様	備考
用紙サイズ	A4 (210×297mm)	斜めに裁断されているなど、裁断誤差の大きい用紙では、斜めに折られる場合があります。
紙厚	坪量　64g/㎡～127.9g/㎡ （連量　55kg～110kg　四六判）	薄手のコシのない紙では、正常に折れない場合があります。
紙種	上質紙・再生紙 （アート紙・コート紙）※注	※注）全てのアート紙やコート紙には対応しておりません。正常に折れない場合があります。このような場合は、あらかじめ、手でよく捌いてからセットすると、正常に折れる場合があります。

5.3. 操作パネルの表示と意味

表　示	意味	確認／対処のしかた	参照ページ
ピリオド表示なしの枚数表示 	カウントアップモードでスタートできます。(折った枚数を表示)	―	-
ピリオド表示ありの枚数表示 	カウントダウンモードでスタートできます。(残り枚数を表示)	―	-
給紙エラーまたは、折テーブルＡＢ内紙詰まりエラー表示 	用紙がありません。	用紙をセットします。	-
	折りテーブルＡまたはＢ内で紙が詰まっています。	折りテーブル内に詰まった紙を取り除きます。	14
	給紙テーブルから用紙が送られませんでした。	「こんなときは」の項をご参照ください。	19
	上カバーが開いた状態で、スタートがかかりました。	上カバーを閉めてから、スタートします。	-
排紙側紙詰まりエラー表示 	排紙トレーが満杯です。	排紙トレーの紙を取り除きます。	-
	排紙センサ付近に紙が残っています。	排紙センサ付近のお手入れをします。	15

5. 4. 折る前の準備

（1） 電源プラグをコンセントにしっかりと挿して、本体左下の電源スイッチを入れます。

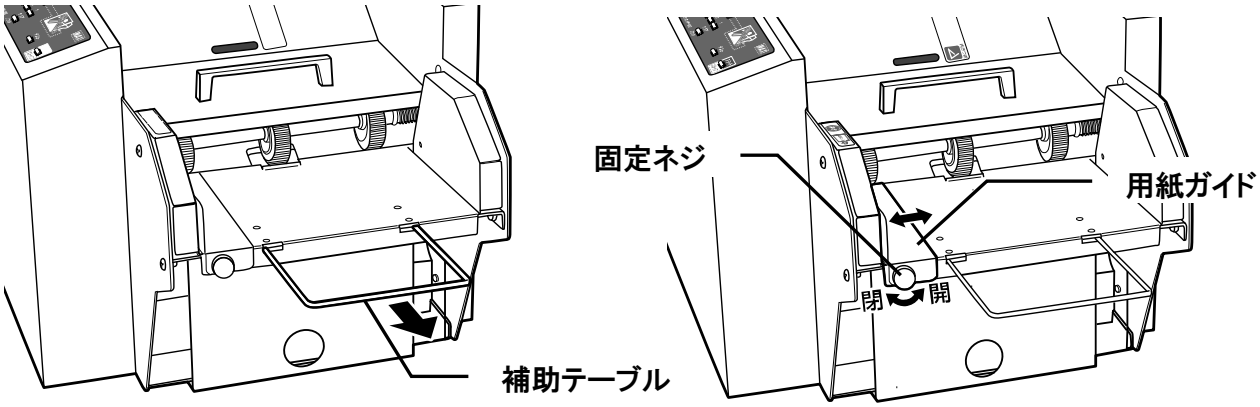


メモ

◆ 電源を入れた数秒の間は、50Hz 地域モデルは「50」、60Hz 地域モデルは「60」と操作パネルに表示されます。ご使用の地域の電源周波数と一致しているかご確認ください。

（2） 補助テーブルを引き出します。

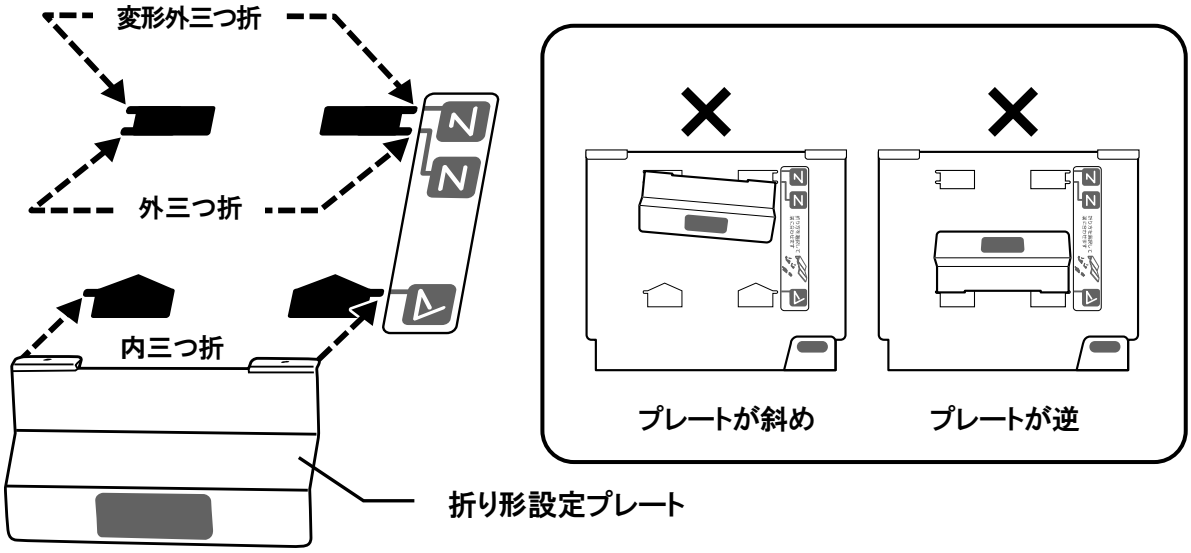
固定ネジをゆるめ、用紙ガイドの幅を使用する用紙に合わせて移動させ、固定ネジを締めます。



メモ

◆ 用紙ガイドと用紙に隙間があり過ぎると、斜めに折られる原因となります。

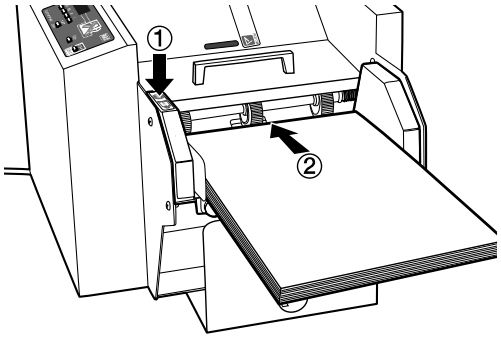
（3） 上カバーを開けて、折りたい形のイラストが示す位置に、折り形設定プレートを溝に差し込みます。

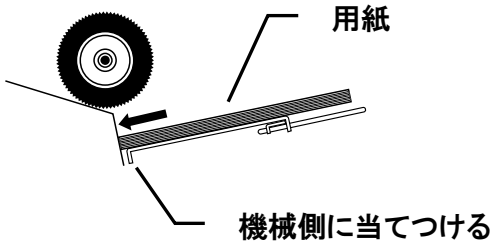


（4） 上カバーを閉めます。

（5） ①給紙テーブルを**押し下げながら**、

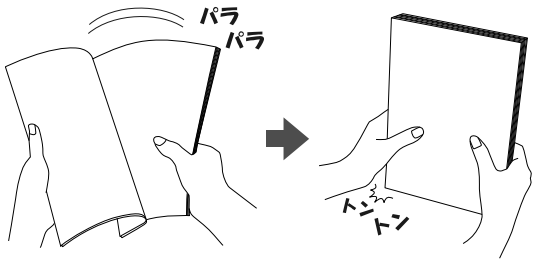
②用紙を本体側に当てつけ、給紙テーブルを戻します。



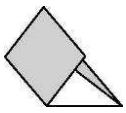
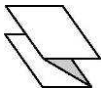
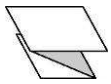


メモ

◆ 用紙をセットする前に、紙と紙の間に空気が入るように、用紙を手で捌き、揃えてからセットするとより安定して動作します。



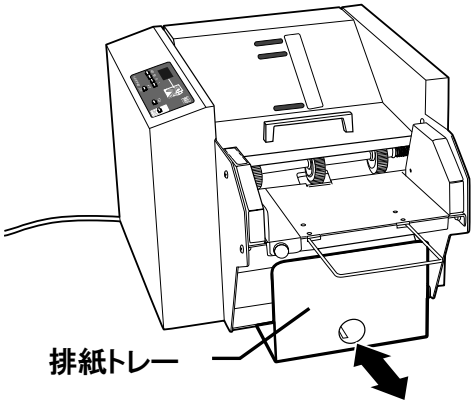
◆ 図の**着色部**は、給紙テーブルに用紙を**下向き**にセットしたときに折られた状態です。

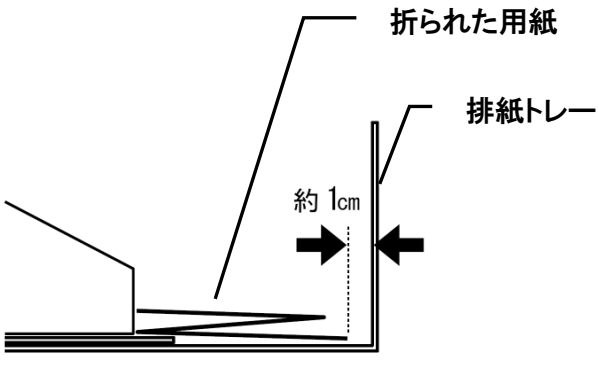
図			
折り形	内三つ折	外三つ折	変形外三つ折

（6） テストボタンを押すと、試し折りを開始します。２枚折って、自動停止します。

折り形や向きが正しいか確認します。

（7） 排紙トレーを引き出します。折った幅よりも **1cm 程度**広くなるような位置が最も枚数を多く積める適切な引き出し位置です。





メモ

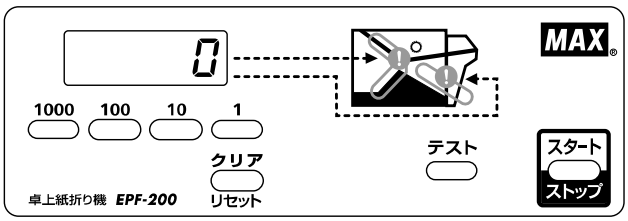
◆ 排紙トレーを必要以上に引き出すと、適切な位置に比べ、排紙トレーが満杯でエラー停止するまでの枚数が少なくなります。

5.5. セットした用紙を全て折りたいとき（カウントアップモード）

セットした用紙が全て折り終わるまで、枚数をカウントしながら、連続的に折ります。

（1） 「5.4折る前の準備」に従って、用紙のセットや折り形の確認を行います。

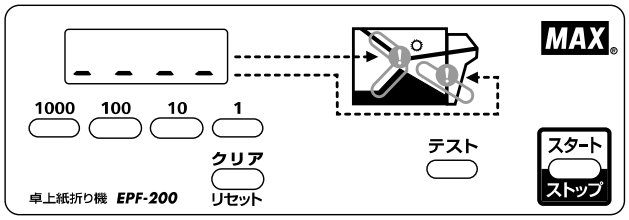
（2） **クリア／リセット**ボタンを押して、カウンタ表示を「０」にします。



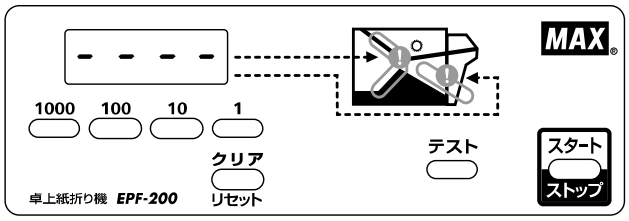
（3） **スタート／ストップ**ボタンを押すと、用紙をカウントしながら連続動作を開始します。

・途中で停止させたい場合は、再度、**スタート／ストップ**ボタンを押します。

・排紙トレーがいっぱいになったり、セットした用紙が全て折り終わると自動的に停止し、各エラーが表示されます。

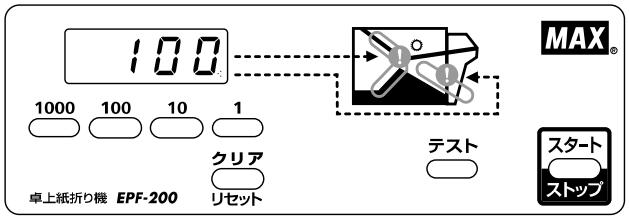


排紙トレーが
いっぱいです

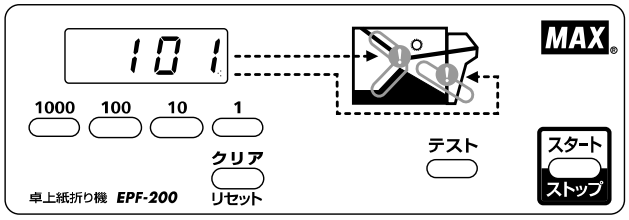


用紙がありません
または
給紙エラー／紙詰まり

・**クリア／リセット**ボタンを**１回**押すと、エラー表示が解除され、停止前までに積算したカウンタ表示に戻ります。



・継続して積算したい場合は、再度、用紙をセットし、それまでにカウントされた枚数を表示させた状態から、**スタート／ストップ**ボタンを押すことで、継続的にカウントできます。



メモ

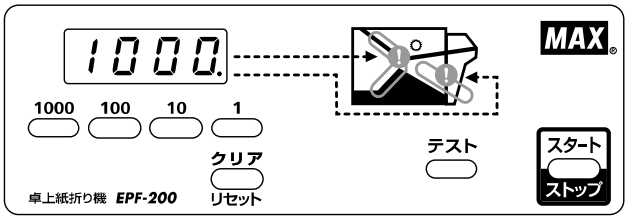
◆ 連続動作が途中で停止しても、枚数表示状態にて**クリア／リセット**ボタンを押すまで、カウンタはクリアされません。停止した状態から、再度、用紙をセットしてスタートさせると、停止前からの枚数から継続してカウントアップを開始します。

5.6. 必要な枚数だけ折りたいとき（カウントダウンモード）

設定した枚数を折り終わるまで、残り枚数を表示しながら連続的に折ります。設定枚数に達すると自動停止します。

（1） 「5.4折る前の準備」に従って、用紙のセットや折り形の確認を行います。

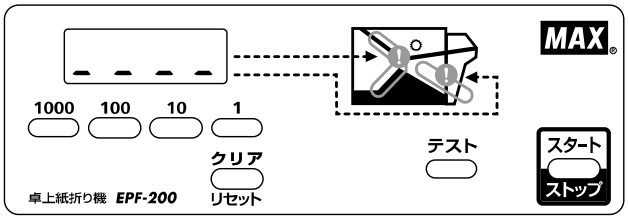
（2） 1000 100 10 1 の枚数設定ボタンを押して、折りたい枚数を表示させます。
各桁のボタンを押す毎に、１→２→・・→９→０と変化します。
クリアボタンを押すと「０」になります。



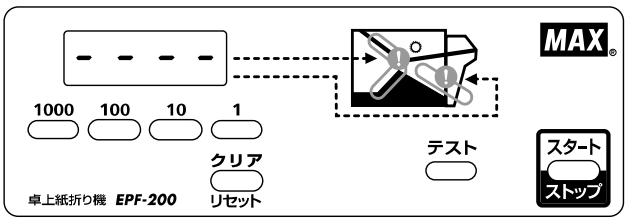
（3） **スタート／ストップ**ボタンを押すと、残り枚数を表示しながら連続動作を開始します。

・途中で停止させたい場合は、再度、**スタート／ストップ**ボタンを押します。

・排紙トレーがいっぱいになったり、セットした用紙が全て折り終わると自動的に停止し、各エラーが表示されます。

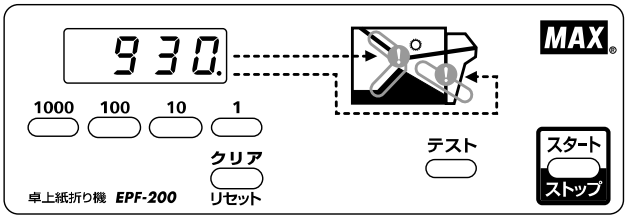


排紙トレーが
いっぱいです

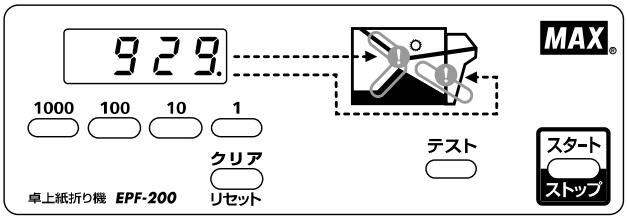


用紙がありません
または
給紙エラー／紙詰まり

・**クリア／リセット**ボタンを**１回**押すと、エラー表示が解除され、停止前までに積算したカウンタ表示に戻ります。



・再度、用紙をセットし**スタート／ストップ**ボタンを押すことで、継続的にカウントできます。



メモ

◆ 連続動作が途中で停止しても、枚数表示状態にて**クリア／リセット**ボタンを押すまで、カウンタはクリアされません。停止した状態から、再度、用紙をセットしてスタートさせると、停止前からの枚数から継続してカウントダウンを開始します。

5.7. 重ね折りをするには

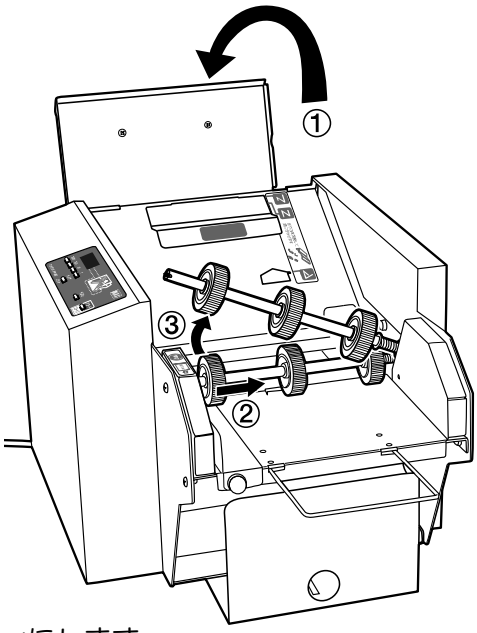
以下の様な機械の設定を行うことで、手差し給紙で、３枚**(64g/㎡紙)**まで重ねて折ることができます。

(1) 本体左下の電源スイッチを OFF にします。

(2) ① 上カバーを開けます。

② 給紙ローラユニットを左側に押し込みます。

③ 給紙ローラユニットを上に持ち上げて取り外します。（大切に保管ください。）



(3) 折り形設定プレートを溝に差し折り形を選択します。

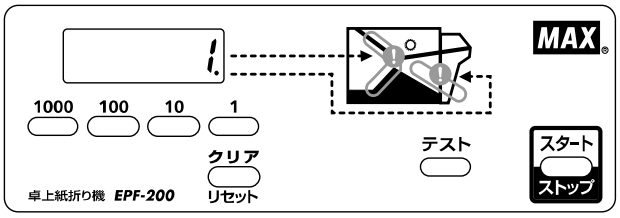
(4) 上カバーを閉めて、電源スイッチを ON にします。

(5) 補助テーブルを引き出します。

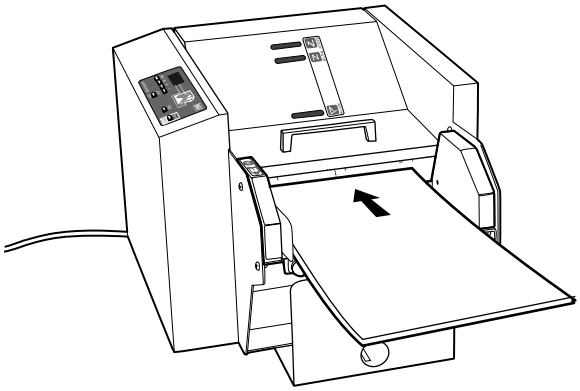
(6) 用紙幅に合わせ、用紙ガイドを移動させます。

(7) 排紙トレーを引き出します。折った幅よりも 1cm 程度広くなるような位置が最も枚数を多く積める適切な引き出し位置です。

(8) 1 の位の枚数設定ボタンを押して、カウンタ表示を「１.」にします。



(9) 給紙テーブルは**押し下げない**状態で、給紙テーブルに沿って、重ねた用紙（3 枚まで）を揃えて、本体側の折りローラに**つき当たるま**で、差し込みます。



⚠ 注 意

重ね折りは、**64g/㎡**の紙厚で 3 枚までです。枚数を超えてセットすると紙詰まりや故障の原因となります。

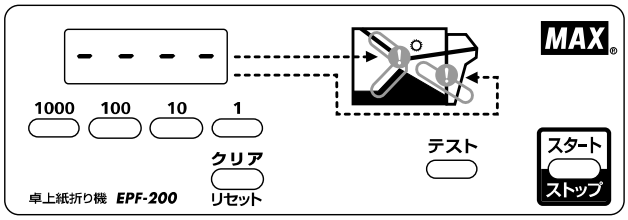
(10) スタートボタンを押します。

(11) 1 部折り終わると動作が停止し、カウンタに「１.」が表示されます。

(12) 続けて折るには、（8）～（9）を繰り返して行います。

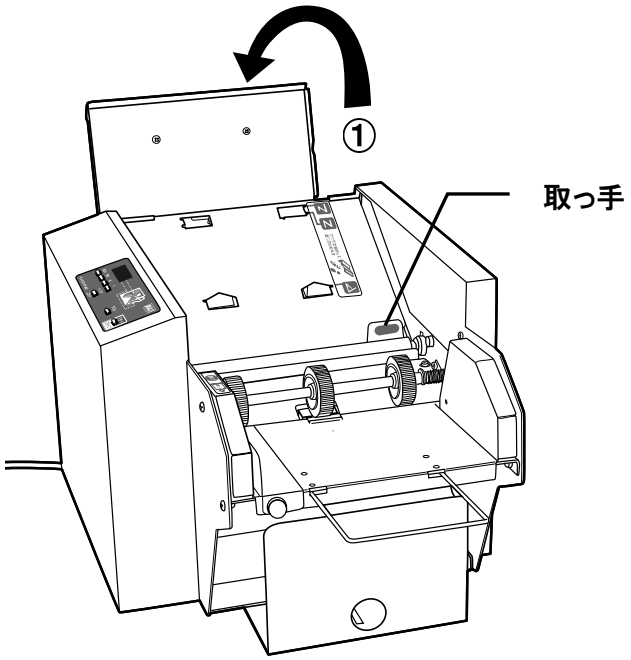
5. 8. 紙詰まりした用紙を取り除くには

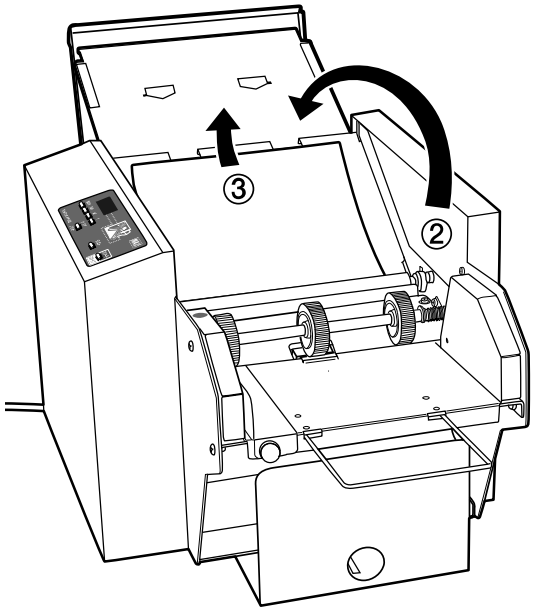
用紙がセットされている状態で、以下の表示となった場合は、紙詰まりが発生しています。



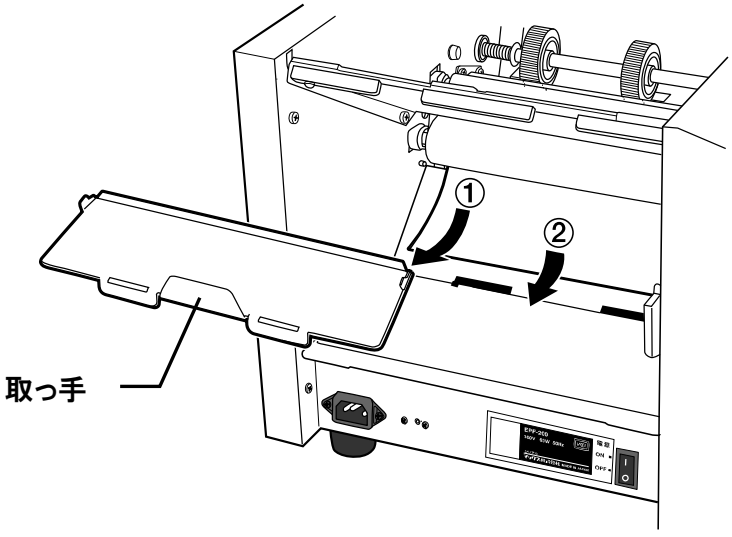
紙詰まりが発生した場合は、折りテーブルＡカバーおよび折りテーブルＢカバーの青印の取っ手部を引いて開けます。中に詰まった紙を全て取り除いてください。

■ 折りテーブルＡ



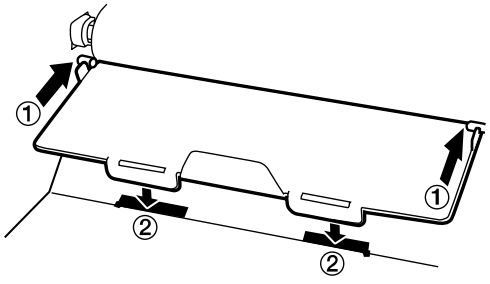


■ 折りテーブルＢ



取り付けかた

①、②の順に行ってください。



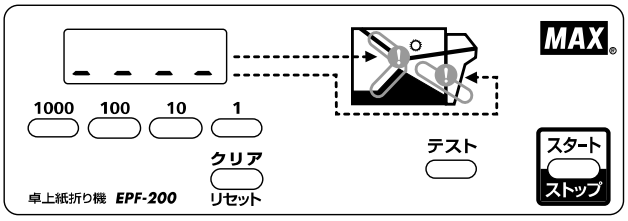
6. お手入れのしかた

6.1. 本体のお手入れのしかた

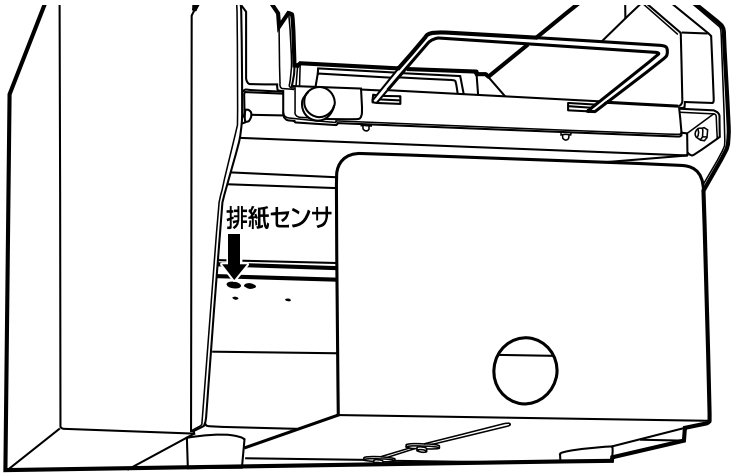
本体が汚れた場合は、やわらかい布でふき取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた洗浄液を湿らせ、固く絞った布でふき取ってください。アルコールやベンジン、溶剤等で拭かないでください。変色や変形の恐れがあります。

6.2. 排紙センサのお手入れのしかた

排紙トレーにある用紙を取り除いても、以下の表示となる場合は、排紙センサのお手入れが必要です。

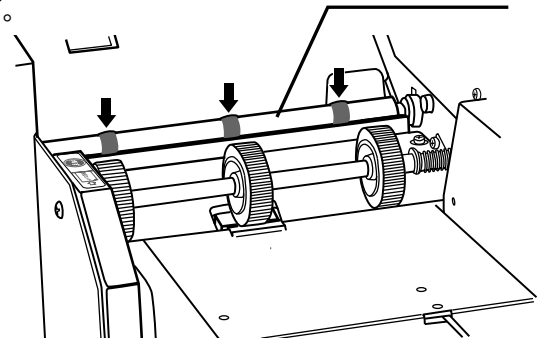


排紙センサ部に用紙の破片及び紙粉などが付着すると上記エラーが発生します。このような場合は、綿棒など軟らかいもので付着した紙粉や用紙破片などを取り除いてください。



6. 3. ゴムローラのお手入れのしかた

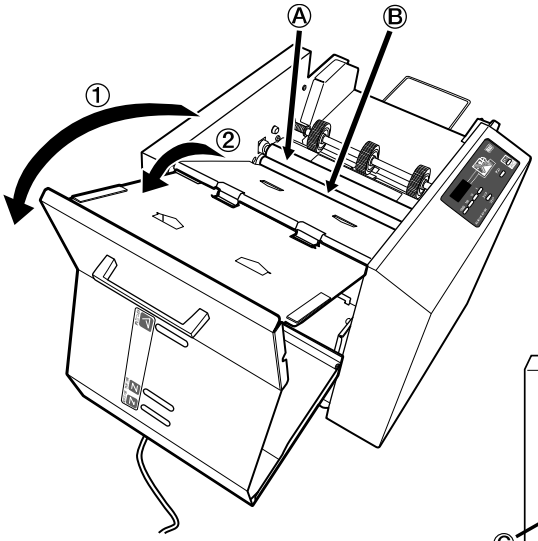
ゴムローラに紙紛やインクなどの汚れが付着すると、折りズレや、紙詰まりを起こす原因となります。定期的にクリーニングを行ってください。おおむね５千枚～1 万枚程度毎のクリーニングが目安ですが、印刷時のインクの乾きが不充分の状態の用紙を使用されますと、クリーニングが必要な時期を早めます。また、紙粉とインクが混ざり合ってゴムローラに固着すると、汚れがとりにくくなりますので、早めのクリーニングをお奨めします。

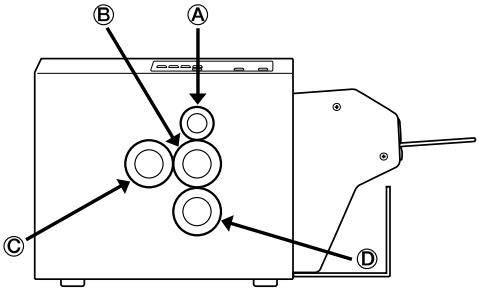


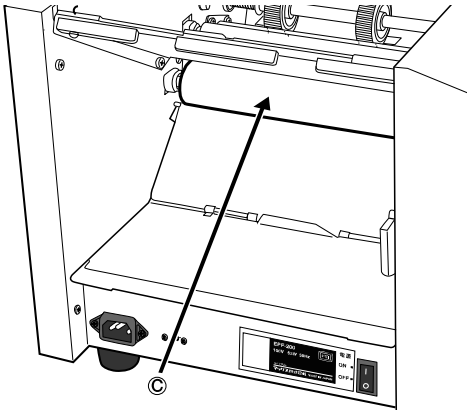
ゴムローラ
矢印部が特に汚れや
すい部分です

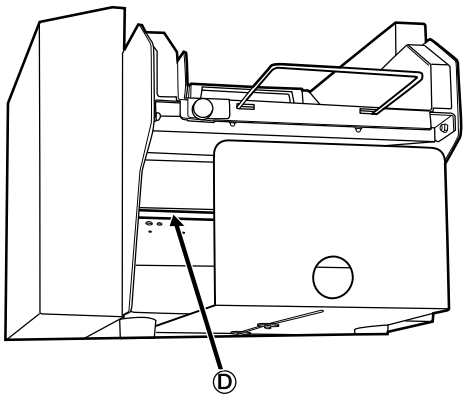
（1） 必ず電源プラグをコンセントから抜きます。

（2） きれいな布に、専用のクリーナーを含ませて、ゴムローラ４本をクリーニングします。
ローラの変質を防止する為、必ず専用のクリーナーをご使用ください。
ローラを手で回しながら、下記 A～D のローラを全周クリーニングしてください。



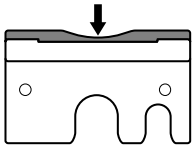






6. 4. 消耗部品の交換のしかた

①給紙ローラゴム、②給紙パッド、③ゴムシートは、消耗部品（別売）です。
交換の目安は、使用枚数 20 万枚もしくは 2 年のどちらか早い方です。
いつでも快適にお使いいただくために、早めの交換をお奨めします。

消耗したときの機械の症状	交換の目安	消耗部品	交換が必要な状態
① 給紙テーブルから紙が送られないことが、度々発生する。 ② 用紙が重なって送られ、機械内で詰まったり、折り位置が全く異なって排出されることが度々発生する。	使用枚数 20 万枚もしくは 2 年のどちらか早い方	給紙ローラゴム	ゴム断面の山が丸くなって、溝が浅くなっている。 ゴムに亀裂が生じている。
		給紙パッド	給紙ローラゴムのあたる部分がへこんでいる。 
		ゴムシート	給紙ローラゴムと給紙パッドと同時に交換してください。

■ 交換方法

交換の際は、性能維持のため必ず、①給紙ローラゴム、②給紙パッド、③ゴムシートの**<u>3 点をセットで交換</u>**してください。

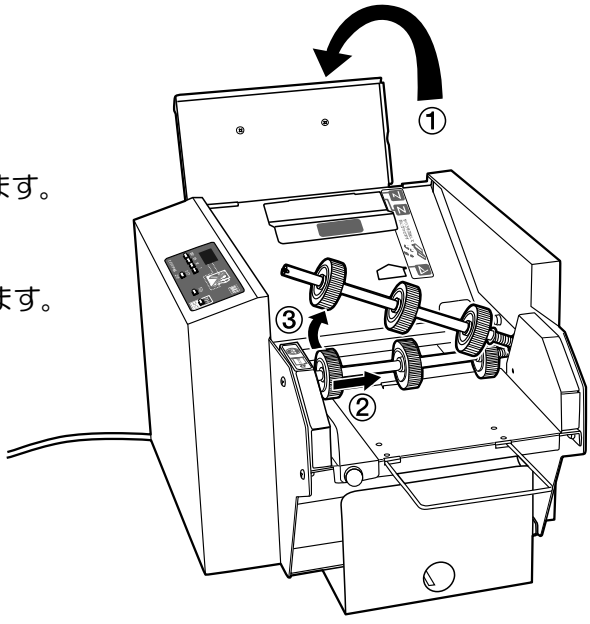
（1） 必ず電源プラグをコンセントから抜きます。

（2） 給紙ローラユニットを以下の手順で取り外します。

① 上カバーを開けます。

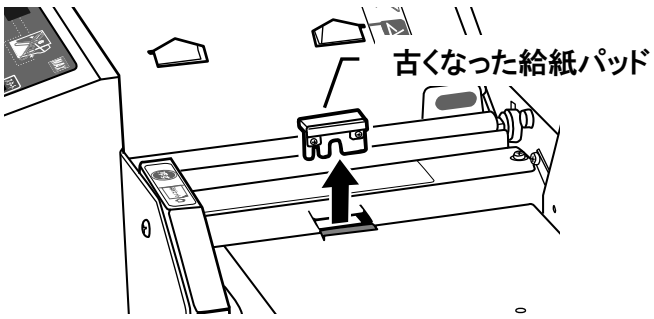
② 給紙ローラユニットを、右奥に押し込みます。

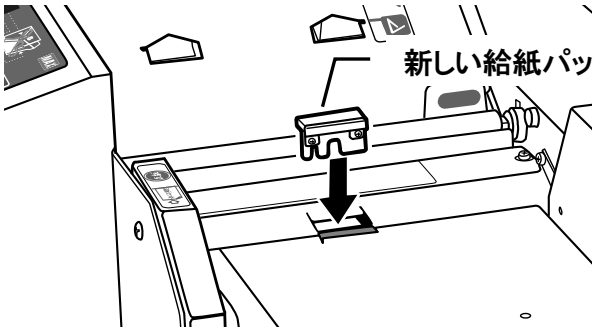
③ 上に引き上げて、取り外します。



(3) 給紙パッドの両側を持ち、引き上げて取り外します。

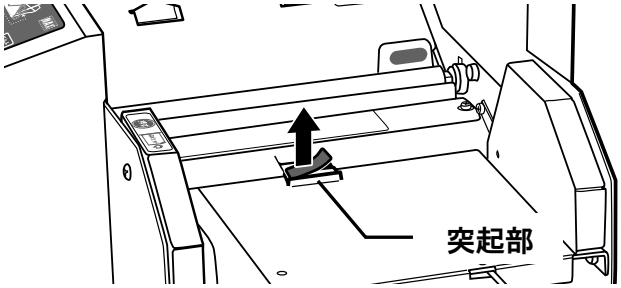
向きに注意して、新しい給紙パッドを差し込みます。



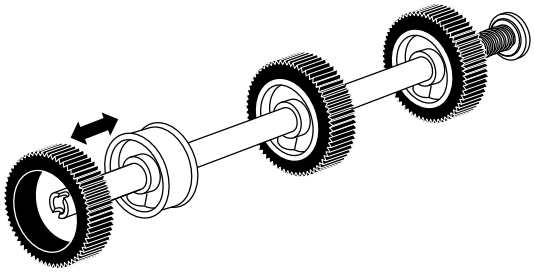


(4) 粘着テープで取り付けられている黒いゴムシートを剥がします。

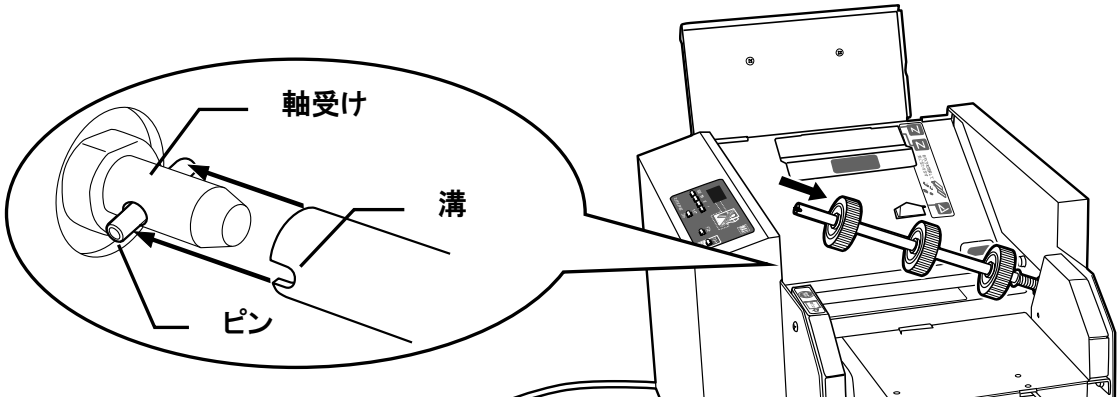
新しいゴムシートの剥離紙をはがし、本体突起部に合わせて、元の位置に貼り付けます。



(5) 給紙ローラゴム（3 個）を取り外し、3 個全て新しい給紙ローラゴムに取り替えます。



(6) 給紙ローラユニットの白いプラスチック部材側を本体右奥側の穴に押し込み、本体手前側の軸受けにあるピンに、給紙ローラユニットの軸にある溝を合わせて取り付けます。



(7) 上カバーを閉じます。

7. こんなときは

7.1. こんなときは

次のような場合は、下表に従いご確認をお願いします。表に従って対処しても解決できない場合は、故障の可能性があります。最寄りの弊社営業所またはご購入販売店にご相談ください。

症　状	ご確認ください	対処のしかた	参照ページ
電源スイッチを**ON**しても電源が入らない	電源コードがしっかりと接続されていますか。	電源コードを接続します。	7
	ブレーカが働いていませんか。	安全装置が働きました。 紙詰まり等の原因を除き、ブレーカボタンを押し復帰させます。	6
	排紙トレーが満杯になっていませんか。	排紙トレーから用紙を取り除いきます。	-
スタートキーを押しても給紙しない	上カバーが開いていませんか。	上カバーを閉じます。	-
	ゴムローラに紙片が巻きついている	折りカセットカバーを外してゴムローラに付着した紙片を取り除きます。	14
斜めに折られてしまう	用紙ガイドが、斜めに取り付けられていませんか。	用紙ガイドは、用紙に合わせ、まっすぐに固定します。	9
	用紙ガイドが用紙幅に合わせて固定されていますか。	用紙ガイドを、用紙幅に合わせ、固定します。	9
	折り形プレートが溝に正しく入っていますか。	プレート磁石面が全面密着するように、まっすぐに差し込んでください。	9
	用紙の裁断が曲がっていませんか。	裁断誤差の少ない用紙をご使用ください。	8
	薄くコシのない用紙で、反っていませんか。	反りを矯正するか、適合する用紙をご使用ください。	8
	ゴムローラが汚れていませんか。	お手入れのしかたに従って、クリーニングを行ってください。	16
紙詰まりが多発する	使用できる用紙以外の紙を使用していませんか。	使用できる用紙を確認して、適合する用紙をご使用ください。	8
	用紙通過部に紙片が詰まっていませんか。	折テーブル内、ローラ近傍、排紙部付近を確認し、紙片を取り除きます。	14 15
	ゴムローラが汚れていませんか。	お手入れのしかたに従って、クリーニングを行ってください。	16
	用紙が静電気で貼り付いていませんか。	市販の静電気除去スプレー等で静電気を除去してください。	-
	印刷直後のインクで湿っている用紙を使用していませんか。	充分に乾いてから使用します。	-
	給紙テーブル上に用紙がない、少ない	給紙テーブル上に用紙をのせる	-

症　状	ご確認ください	対処のしかた	参照ページ
シワが生じる	ゴムローラが汚れていませんか。	お手入れのしかたに従って、クリーニングを行ってください。	16
	使用できる用紙以外の紙を使用していませんか。	使用できる用紙を確認して、適合する用紙をご使用ください。	8
	印刷の乾燥が不充分で、用紙がはりついていませんか。	インクを充分に乾かした後、用紙をよくさばいてから紙折りをします。	-
	印刷直後のインクで湿っている用紙を使用していませんか。	充分に乾いてから使用します。	-
	折りカセット内で、紙が詰まっていませんか	折りカセットカバーを開け、紙片を取除きます。	14
	薄くコシのない用紙で、反っていませんか。	反りを矯正するか、適合する用紙をご使用ください。	8
	電源コードのプラグが外れかかっていませんか。	電源コードのプラグを確実に差し込みます。	7
排紙トレーが満杯で無いのに、排紙エラーが多発する	排紙トレーの引き出し位置が適切ですか。	適切な位置に引き出します。	10
	排紙センサが汚れていませんか。	排紙センサ付近のお手入れしてください。	15
給紙テーブルから、用紙が送られない	給紙ローラゴムが紙粉やインクで汚れていませんか。	給紙ローラゴムを清掃してください。	-
	給紙ローラゴムが摩耗していませんか。	給紙ローラゴムを交換してください。	17
	使用できる用紙以外の紙を使用していませんか。	使用できる用紙を確認して、適合する用紙をご使用ください。	8
	給紙パッドが汚れていませんか	給紙パッドを清掃してください。	-
	給紙パッドが摩耗していませんか	給紙パッドを交換してください。	17
	60Hzの機械を**50Hz**地域で使用していませんか	周波数の設定変更が必要です。最寄りの弊社営業所、サービスステーション、または購入販売店にご相談ください。	21
用紙が重なって送られてしまう	給紙パッドが汚れていませんか	給紙パッドを清掃してください。	-
	印刷済用紙がはりついていませんか。	用紙をよく捌いてから、再セットしてください。	10
	使用できる用紙以外の紙を使用していませんか。	使用できる用紙を確認して、適合する用紙をご使用ください。	8
	60Hzの機械を**50Hz**地域で使用していませんか。	周波数の設定変更が必要です。最寄りの弊社営業所、サービスステーション、または購入販売店にご相談ください。	21
	用紙がカールしていませんか。	カールを矯正します。	-

7.2. お問い合わせ

「7.1.こんなときは」　の内容をご確認いただいても解決できない場合や、ご不明な点、商品の仕様・取扱い説明に関するお問い合わせは、裏表紙に記載のお客様相談ダイヤルまでご連絡ください。

お問合せの際には、下記内容をお知らせください。

（1） 製品名　EPF-200/50Hz　または　EPF-200/６0Hz
（2） シリアルナンバー（本体電源スイッチ近傍または保証書に記載されています。）
（3） ご購入日
（4） 具体的な内容：より的確な回答をさせていただくため、具体的な操作手順とどのような現象になるか、またそのときの操作パネルの表示内容などを、なるべく詳しくお聞かせください。

ご相談窓口における個人情報のお取扱い

マックス株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認のために利用し、その記録を残すことがあります。
また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバーディスプレイを採用しています。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問合せは、ご相談された窓口にご連絡ください。

8. 保証とアフターサービス

8.1. 保証について

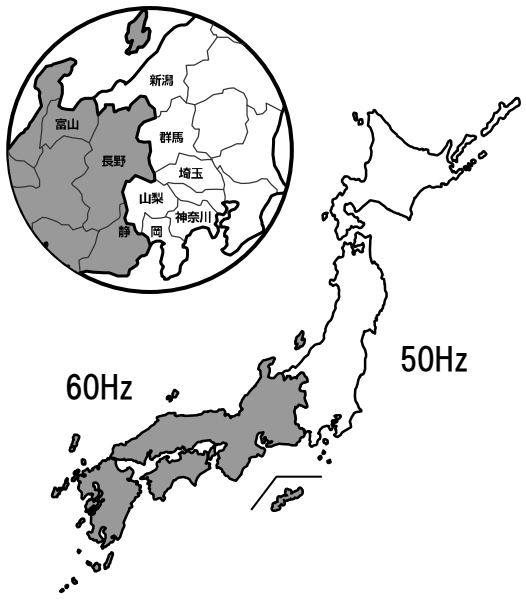
製品同梱の保証書の内容に従って保証いたします。

ただし、消耗部品は保証対象外となります。

サービス拠点につきましては、本書裏表紙または、弊社ホームページをご参照ください。

8.2. 転居されるときは

転居に伴い電源周波数が変りますと、所定の性能が得られなかったり、故障の原因になりますので、電源周波数の設定変更を、ご購入販売店、もしくは最寄りの弊社営業所・サービスステーションにご相談ください。



静岡県での 50Hz と 60Hz の境界は、
富士川をはさんで、東西でわかれます。

・50Hz 地域
　富士市、富士宮市、富士郡芝川町以東
・60Hz 地域
　静岡市清水区、庵原郡富士川町、由比町以西

長野県や新潟県など、境界付近の地域の一部では、左記の標準周波数と異なる周波数で供給されている地域があります。詳しくは、ご使用になる地域管轄の電力会社にお問合せください。

9. 製品仕様

項目	仕様	
商品名	マックス 卓上紙折り機	
製品名称	EPF-200／50Hz 50Hz 地域向け	EPF-200／60Hz 60Hz 地域向け
製品コード	EF90015	EF90016
適合用紙サイズ	A4 （297×210mm　JIS ｻｲｽﾞ）	
適合用紙厚	紙厚　坪量６４g/㎡～127.9g／㎡　（連量　55kg～110kg　四六判）	
適合紙種	上質紙・再生紙 ※アート紙やコート紙では、正常に折れない場合があります。	
処理速度	88 枚／分 （上質紙　64g／㎡　内三つ折時）	104 枚／分 （上質紙　64g／㎡　内三つ折時）
折り種類	内三つ折、外三つ折、変形外三つ折	
折り幅寸法	内三つ折・外三つ折：99.5±1.5mm 変形外三つ折：109±1.5mm （上質紙　64g／㎡　使用時）	
重ね折り枚数	3 枚まで（上質紙　64g／㎡　使用時） ※給紙は、手差し給紙となります。	
給紙積載量	最大 300 枚（上質紙　64g／㎡　使用時）	
動作温度範囲	5℃ ～ 35℃	
保存温度範囲	-10℃ ～ 60℃	
外形寸法	収納時：470（幅） x 365（奥行） x 300（高さ） 使用時：570（幅） x 365（奥行） x 300（高さ）	
質量	約 19.5kg	
電源	AC１００V　／50Hz	AC１００V　／60Hz
消費電力	63W（動作時） 3.1W（待機時）	87W（動作時） 2.8W（待機時）
規格	VCCI　classB 適合	
付属品	電源コード、保証書兼お客様登録カード、取扱説明書（本書）	
消耗部品	①　給紙ローラゴム　②給紙パッド　③ゴムシート （交換の目安：20 万枚または、2 年のいずれか早い方）	

MAX®
マックス株式会社

本社・営業本部

〒103-8502　東京都中央区日本橋箱崎町 6-6　　TEL (03)3669-8108(代)

営業拠点

札　幌	TEL	(011)261-7141(代)	静　岡	TEL	(054)237-6116(代)
盛　岡	TEL	(019)621-3541(代)	名古屋	TEL	(052)935-8531(代)
仙　台	TEL	(022)236-4121(代)	金　沢	TEL	(076)240-1871(代)
新　潟	TEL	(0256)34-2140(代)	大　阪	TEL	(06)6444-2031(代)
長　野	TEL	(0263)26-4377(代)	四　国	TEL	(087)866-5599(代)
埼　玉	TEL	(048)651-5341(代)	岡　山	TEL	(086)246-9516(代)
東　京	TEL	(03)3669-8141(代)	広　島	TEL	(082)291-6331(代)
横　浜	TEL	(045)364-5661(代)	福　岡	TEL	(092)411-5416(代)

アフターサービス

札　幌	TEL	(011)231-6487	名古屋	TEL	(052)935-8210
仙　台	TEL	(022)237-0778	大　阪	TEL	(06)6446-0815
高　崎	TEL	(027)350-7820	広　島	TEL	(082)291-5670
東　京	TEL	(042)548-5332	福　岡	TEL	(092)451-6430

●商品の仕様・取扱い説明に関するお問い合わせは、お客様相談ダイヤルまで。

フリーダイヤル **0120-510-200**

または、有料ダイヤル 03-3669-6786

※携帯電話からは、有料ダイヤルにお電話ください。

※月～金曜日（祝日・当社指定休日を除く）午前 9 時～午後 6 時

※『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

●ホームページアドレス

http://www.max-ltd.co.jp

N098TG

住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。
最新の情報はホームページをご確認ください。